平成25年４月４日

各　位

会　社　名　株式会社ワンダーコーポレーション
代表者名　代　表　取　締　役　社　長　日下　　孝明
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号：３３４４）
問合せ先　取　締　役　管　理　本　部　長　塚田　　英雄
（ TEL：　０２９－８５３－１３１３）

当社子会社(株式会社新星堂)の業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生について

当社子会社である株式会社新星堂が、平成25年２月期通期(平成24年３月１日～平成25年２月28日)の業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生について、別紙のとおり公表しましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社連結業績への影響は現在精査中ですので、確定次第、業績予想の修正が必要となる場合は速やかにお知らせいたします。

以　上

平成25年４月４日

各　　位

会　社　名　株式会社　新星堂
代 表 者 名　代表取締役社長　　砂田　浩孝
（JASDAQ　・コード７４１５）
問 合 せ 先
役職・氏名　取締役上席執行役員　荒川　公男
電　　話　０３－３３９３－５１５１

平成25年２月期業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成25年２月期（平成24年３月１日～平成25年２月28日）の業績予想におきまして、平成24年12月20日付「平成25年２月期業績予想の修正及び特別利益並び特別損失の発生に関するお知らせ」で公表いたしました平成25年２月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

１．平成25年２月期　業績予想の修正等
（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	23,600	△240	△140	2,700	76.65
今回修正予想（B）	23,590	△1,016	△917	2,155	59.49
増減額　（B-A）	△9	△776	△777	△544	
増減率　（%）	0.0	－	－	△20.2	
（ご参考） 前期実績 （平成24年２月期）	26,063	△231	△366	△879	△24.96

２．修正理由

通期の売上高につきましては、ほぼ業績予想どおりの235億90百万円となりましたが、売上原価が予想より７億82百万円膨らみ、営業損失は10億16百万円と大幅に下振れる結果となりました。これは、（１）楽器事業の譲渡を踏まえ、楽器複合型店舗の縮小を計画しており、商品政策を変更する予定であることから楽器関連商品を中心に大幅な評価減を実施して売上原価が予想より６億円強増加したこと。（２）１月、２月に発売された新譜の販売が低調なことから、計画した売上高を維持して資金確保を図るため、従来にない規模で値引きセールを実施し、同時に商品仕入を抑制したことでリベート収入が減少したことから、売上高は維持できたものの粗利率が低下し、粗利額が予想より２億円強減少したことによります。

以上から、経費は15百万円削減できたものの、営業利益は予想を７億76百万円、経常利益は７億77百万円下回る見込みであります。

また、後記３．特別利益と特別損失の内訳に記載のとおり、特別利益は予想を１億89百万円上回る45億29百万円、特別損失は予想を９百万円上回る14億29百万円となり、当期純利益は予想を５億44百万円下回る21億55百万円となる見込みです。

３．特別利益と特別損失の内訳

（１）特別利益の計上

平成 24 年 12 月 20 日付「平成 25 年２月期業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生に関するお知らせ」でお知らせしました債務免除益が 44 億 93 百万円に確定いたしましたのでその当該金額を、また固定資産売却益 13 百万を、平成 25 年２月期第４四半期会計期間に各々特別利益として計上する予定であります。

（２）事業譲渡損失の計上

平成 24 年 12 月 20 日付「平成 25 年２月期業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生に関するお知らせ」でお知らせしました楽器部門の事業譲渡に伴う損失が 11 億 17 百万円に確定いたしましたので、当該金額を事業譲渡損失として特別損失に計上する予定であります。

（３）減損損失の計上

既に退店決議されている６店舗、及び当社の判定基準に基づき減損対象となった 24 店舗において、営業キャッシュフローによる回収が見込めない資産に対し合計 68 百万円を、また共有資産において、本社移転及びロジスティクスセンター撤退に伴いソフトウェア、電話加入権ほかの資産に対し 81 百万円を、各々減損損失として特別損失に計上する予定であります。

（４）関係会社清算損

平成 24 年 12 月 20 日付「平成 25 年２月期業績予想の修正及び特別利益並びに特別損失の発生に関するお知らせ」でお知らせしましたモバイル事業の縮小に伴う合弁会社の清算損のうち、既に発生している在庫処分５百万円を特別損失に計上する予定であります。

（５）事業改善引当金

平成 26 年２月期事業計画において予定されている本社の移転費用として 16 百万円、ロジスティクスセンターの撤退費用として 20 百万円、及びモバイル事業の縮小に伴う合弁会社の清算損のうち平成 26 年２月期に発生見込みの損失 48 百万円を、事業改善引当金として特別損失に計上する予定であります。

（６）固定資産除却損の計上

平成 25 年２月期第４四半期会計期間に退店及び改装を行った数店舗において、減損損失を計上していない資産に対し固定資産の除却損 474 千円を計上する予定です。

以上のとおり、平成 25 年２月期の通期業績は売上高 235 億 90 百万円、営業損失は 10 億 16 百万円、経常損失は９億 17 百万円、当期純利益は 21 億 55 百万円となる見込みです。

なお、純資産は 21 億 59 百万円となり、債務超過を解消する見込みであります。

※　上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以　上